

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もとす広域連合 療育医療施設 幼児療育センター		
○保護者評価実施期間		令和7年10月20日	～ 令和7年11月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	221 (回答者数)	209
○従業者評価実施期間		令和7年11月10日	～ 令和7年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年12月1日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どものことを理解し、子どもと保護者のニーズや課題が分析されたりで、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成され、専門性のある支援が受けられている。	・個別支援計画書作成時の面談や担当者会議を丁寧に行うよう努めています。個別支援計画を作成する際には、担当職員や保護者の方からの聞き取りをしたりで、児童発達支援管理責任者が個別支援計画書の原案を作成し、原案をもとに保護者にモニタリングを行っています。その後、児童発達支援管理責任者、学年リーダー、担当者でサービス担当者会議を行い、完成した個別支援計画書について保護者の方に説明し、確認をいただいております。	・今後も、職員の理解はもちろんのこと、お家の方よりも専門的な見地により、お子さんの様子について理解し、同じ方向を向いて支援がしていくよう、個別支援計画書の内容について丁寧に説明し、理解していただけるよう努めていきたいと思います。
2	・日頃から、子どもの状況を保護者と伝え合い、面談や子育てに関する支援が行われている。	・毎回療育を参観していただいたら、一部活動に参加していただくことで、実際の場面を通して、お子さんの様子を伝えあうようにしています。	・現在、児童発達支援管理責任者は保護者の希望に応じて、療育の時間内に保護者の相談に対応していますが、担当職員と保護者がお子さんの様子について十分にお話をする時間が持てていないと感じています。療育時間内にお話をする時間をどのように設定していくか検討する必要があると考えています。
3	・子どもが安心感を持ち、楽しみに通所している。	・お子さんが安心して力を発揮できるグループはどこか、お子さんの1日のスケジュールを加味しつつ、お子さん、お家の方が少しでも負担が少なく通所できるのはどの時間かをよく検討して、通所時間の提案をさせていただいております。活動内容についても、「できた」が具体的に分かり、積み重ねていけるよう配慮しております。	・お子さんが安心感を持ち、楽しみに通所するためには、どんな支援、療育内容が必要であるか、その都度よく検討し、療育に対する満足度が持続できるよう支援に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援時間は令和6年度より85分から100分に拡大されたものの、保護者、職員ともに十分に話をする時間が持てていないと感じている人がいる。また、支援の打ち合わせや振り返りを行う時間が明確に示されておらず、職員間のやりくりに任されている。	・お子さんへの直接的なサービスの提供時間に重きを置き、スケジュールを組んでおり、お子さんと活動をしながら保護者の方とお話しするといった時間を設けてはいますが、怪我のリスクが高まるため、担当職員とじっくり話ができないといった現状があります。じっくり話がしたい方は療育とは別の日に時間を設定して相談を受けることもできますが、わざわざ療育とは別の日に相談に来所される方はほとんどみえません。日々の職員間の打ち合わせや振り返りについては特別なことがない限り、個々の職員のやりくりに任されてしまっております、状況の改善の必要性を感じています。	・保護者の方と担当者が十分に話ができるような時間をどのように作り出すかについては、検討をしていく必要があると考えています。ゆっくりと相談がしたいという方には、療育時間内に児童発達支援管理責任者が行う事業所内の相談支援を活用することをお勧めしています。 また、週1回2時間程度の時間を設け、活動の準備、打ち合わせ等を行う時間を設けていますが、1単位ごとに打ち合わせや準備の時間が欲しいという意見があるので、打ち合わせや準備の時間を明確に設定し、1日のスケジュールの中に組み込んでいくよう検討をしていきます。
2	・月ごとの療育予定は通信で、各種訓練や研修についてはホームページで情報を提供すると共に、ホームページにアップした内容はその都度廊下や玄関の掲示板でお知らせしているが、保護者の方に広く周知されていない。SNSについては利用していない。	・ホームページについては、利用開始前は開いて事業所の情報を収集することがあっても、利用開始後はわざわざホームページを開いて情報を収集しようということは少なくなると思われます。 また、ホームページの内容を廊下や玄関の掲示板に掲示しても、療育の参観、参加をお願いしているのでじっくり掲示板を見るといった時間がないといったことも考えられます。 このことから、各種訓練や研修を行っていても「実施されているかわからない」といった保護者の方が多数いるといった現状に結びついていると考えています。	・利用開始時のアセスメントの際、ホームページの紹介やホームページにアップされた内容について掲示をしていることをお話しし、保護者の方に周知していきます。 また、SNSについて、利用できるものがあるか検討していきます。
3	・事業所では、各種マニュアルが策定され、訓練等実施されているが、実施されていることが周知されていない。 また、事故等（怪我を含む）の対応についても、「わからない」といった回答をされる方が多かった。	・事業所内では、各種マニュアルが策定され訓練等が実施されているが、実際に訓練に参加する保護者や利用者の方は一部であるため、「訓練が行われているかわからない」といった回答が多くなったと考えています。 また、事故についても、そのような現場に遭遇される方が少ないため、事故時の対応について「わからない」といった回答が多くなっていると思われます。	・地震などの災害時や警報発令時の対応については、年度のはじめ及び利用開始時に「緊急時の対応について」という書面を配布し、説明しております。 また、いつでも確認できるよう、「アイ・あいBOOK」に挟んであることを周知するようにします。 ・各種マニュアルについても職員室前掲示板に掲示してあることを利用開始時に説明し、周知するようにします。 ・事故等が発生した際、保護者の方も含めて迅速に対応ができるよう、書面を作成し、利用開始時に詳しく説明し周知します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	もとす広域連合療育医療施設幼児療育センター	公表日	令和7年 12月 日				
		利用児童数	221人	回収数	209		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	205	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに人気の遊びだと、密になる時がある。 ・一気にひとつの部屋に子どもたちが集中したときはぶつかりそうで怖いときがある。 ・ホールなど子どもが走っても十分すぎるスペースがある。 ・いろんな部屋があって、遊び方など変化がよく見られる。 ・ホールや訓練室などとても広くて、子どもたちが動きやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に訓練室は、雨天時、猛暑日などの利用率が高くなり、子どもたちが集中してしまうことや、親子療育の際はお家の方も訓練室内に入り活動していたことで、狭く感じることもあると思います。お家の方にもご協力いただき、危険回避には努めおりますが、今後につきましては、グループごと部屋の利用の時間帯を変えたり、訓練室の人数の調整をするなど、危険な状況を作らないよう配慮し、職員に周知していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	202	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・臨機応変に個別対応もしてくださっていると思う。 ・子ども1人に対して先生1人と配置されて十分だと思う。 ・1人に対して先生がちゃんとついてくれるから適切であると思う。 ・年長になったタイミングで、2人で1人の先生になつたからどちらともいえない。 ・集団指導の時、子ども1人に先生1人が必ずついているので大丈夫だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、お子さんの様子によって配置しています。基本的にグループ療育利用者は、お子さん2名に対し職員1名の割合で対応させていただいております。 ・また、未就園児療育はマンツーマン対応をさせていただいております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	199	8	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな子でもわかるように部屋は番号や動物のイラストで示してありとてもわかりやすい。 ・子どもがわかるように部屋に番号がついてたり、動物の絵になってたりわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールでは粗大運動（身体全体を使う運動遊びやゲーム遊びなど）を行い、訓練室では感覚統合遊び（吊り遊具、ボールプール、トランポリンなど）ができるようになっており、どの部屋でどんな遊びをするのかは、事前に写真を見て子どもたちに分かりやすく提示するよう配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	207	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもきれいでとても過ごしやすい。 ・換気扇の音が聴覚過敏に厳しい部屋がある。ランチルームの机が黄色くまぶしい。 ・いつもとてもきれいで過ごしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気扇やエアコンの音が部屋によっては気になるところがあると思います。感染症予防の観点から、換気扇は常に回しておくこととしており、療育に支障が出る場合は、換気扇を消して窓を開けるといった対応をしております。状況に応じて対応させていただきたいと考えておりますのでお声かけください。 ・ランチルームの机については、状況に応じて検討させていただきますので、お申し出ください。
適切な支援の提	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	193	13	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・似た特性の子が一緒に受けられるといいなと思う。 ・まだたくさん話せないので、先生がわかりやすい声かけて会話がしやすいようにしてくれていると思う。 ・理解してくださっている。 ・それを判断する知識を持ってません。 ・子どものやりたい事を聞いて受け入れてくれるでの、子どもも先生の提案を受け入れていると感じる。 ・子どもが泣いちやいそうな時、先生が寄りそってくれ、とてもうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ療育においては基本的に、似た特性の子、似たベースの子、興味が似ている子など、お子さんの様子によってこちらからグループの提案をさせていただいております。隨時見直しも行っておりますので、疑問に思うことがございましたら、職員にお問い合わせください。 ・お子さんの様子の理解や支援内容などについて、必要な情報を提供し、知識を深められるような機会を作るようにしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	193	7	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・療育をうけるとどうなるかをまとめているのを確認した。指導をうけてるとその内容にそってやっていると感じる。 ・先生とお話すると、新年度の時に説明してもらったとおりにやってくれると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムの内容については、療育開始時にご説明させていただいているところです。ご不明な点がございましたら、再度説明をさせていただきますので、職員にお問い合わせください。
適切な支援の提	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	196	7	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生が子どものことを理解し接してくれているので指導の時に相談などしやすい。 ・モニタリング等で困っている事などを伝えると、そのことをまとめて支援計画を作ってくれる。 ・保護者のニーズをしっかり聞いてくれて、支援内容を考えててくれる。 ・計画書を見ると、モニタリングで書いたことが反映されて、目標も適切に設定されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書を作成する際は、児童発達支援管理責任者が行ったモニタリングの内容をもとに、児童発達支援管理責任者が中心となり、担当職員、学年のリーダーなど、お子さんに関わる職員で内容について検討をしております。ご不明な点がございましたら、児童発達支援管理責任者までいつでもお問い合わせください。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	192	9	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような支援をするかちゃんとまとめて下さり、優先順位も書かれて、次からどうするかわかりやすい。 ・今の子どもに対して、こうしたいという事を考えて目標を立ててくれていると思う。半年前の目標がてきてたりしてるとうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育センターでは、児童発達支援ガイドラインに定められている「本人支援・移行支援」「家族支援」「地域支援」について、それぞれに目標を立て、具体的な支援方法や内容について明記しています。ご不明な点がございましたら、児童発達支援管理責任者までいつでもお問い合わせください。

児童発達支援計画	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	196	11	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・沿っているんだと思いますが、どの活動がどの支援にあたるかはわからない時もある。 ・支援の方針でこうしていくことを、先生が声かけして子どもにうながしていると思う。 ・集団が苦手なので、個別での支援をいつも受けられていて子どもものびのびとしているなど感じる。 ・指導の時、子どもができているなど感じることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に個別支援計画書に書かれている目標を念頭に置いて支援しています。また、成長度合いに合わせて随時、個別支援計画書の見直しも行っています。ご不明な点がございましたら、児童発達支援管理責任者までいつでもお問い合わせください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	191	12	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとおもちゃが変わるといい。 ・運動遊びだけでなく、制作遊びや水遊びなど色々なことをしていただけている。 ・苦手な分野もサポートして下さるのでありがたい。 ・毎回工夫していただきどうもありがとうございます。感謝しております。 ・定期的にモニタリングして、目標がその度変わっていると思う。 ・毎週違う活動が用意されていて、子も楽しそうに参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような題材を使って遊ぶことも多いですが、題材が同じでも内容（遊び方）を少しずつ変えて提供するようにしております。療育活動の流れを一定にすることで、お子さんが療育センターでの活動について見通しを持ちやすいようにしております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	125	36	11	37	<ul style="list-style-type: none"> ・園同士の交流は少ないかなと思う。 ・無い事もないが自主的に動かないと関わりはありません。 ・活動は少し少ないかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画（個別支援計画書）を利用している年少、年中、年長児のお子さんの99.6%のお子さんが、園との併用をされているので、他のお子さんと活動する機会が保障されていると理解しており、児童発達支援計画書が改めて交流の機会を設ける等することはしていません。未就園児の方で、地域のお子さんと関わりたいと思われている方には地域の子育て支援センター等を紹介しております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	204	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧に説明を受けた。 ・最初の面談時、丁寧でわかりやすく説明していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明をする際は、できる限り分かり易い説明をするよう心掛けておりますが、ご不明な点がございましたら、その都度、児童発達支援管理責任者へお問い合わせください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	198	5	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・先生から説明を受けた。わからないこともその場で聞けるのでうれしい。 ・先生からわかりやすくお話をあった。わからないところはすぐに説明してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が児童発達支援計画（個別支援計画書）の説明に伺います。分からぬことや疑問に思うございましたら、ご質問ください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	174	13	0	22	<ul style="list-style-type: none"> ・参加はできていません。 ・定期的に講座が開催されていて、とても内容が参考になる。 ・定期的に療育講座があり、とても参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育講座への参加ありがとうございます。今後も是非ご参加ください。 ・毎回の療育の中で、ペアレント・トレーニングの考え方のもと、行動でお子さんの様子を記入していただきたり、支援やことばかけの仕方について一緒に考えていくようになります。来年度は、ペアレント・トレーニングの講座も開催する予定です。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	194	12	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の最中や最後に子どもの様子などを話して下さるので、子どもの状況などお互い理解していると思う。 ・もう少し回数がほしい。 ・子どものやりとりを丁寧に伝えてもらえる。 ・どんな声かけをしたか、それに対してどんな言葉が返ってきたか細かく話してくれる。 ・先生とコミュニケーションをとれているので、こういう時はこういう対処方法があるとかアドバイスをもらっている。 ・指導の終わりに先生から、今日の活動でできたこと、今後こうしようとお話があるのでわかりやすい。 ・活動中は担当の先生とゆっくり話をする時間が少ないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育時間の後半に保護者の方とお話しする時間をとっています。時間が足りない方は、保護者の方のみ来所していただきお話を聞くことも可能ですし、療育の時間内に、児童発達支援管理責任者がお話を伺うこともできますので、お問い合わせください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	181	22	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・毎度寄り添ったアドバイスをいただいていると助かっている。 ・支援計画の内容確認などで、定期的に子育てのことでの相談ができると思う。 ・質問等するとの確にアドバイスしていただける。 ・困っていることを話すと一緒に考えて解決してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育時間の後半で、保護者の方と職員がお子さんの療育での様子や園や家庭での様子、困りごとや嬉しいことなど話をする時間をとっています。ゆっくりお話ししたい場合は、事業所内相談支援のサービスもご活用ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	198	7	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家の関わりについて相談すると、一緒にたくさん考えてくれる。 ・ある先生から、自身の子どもさんが体が弱くて～だったという話を聞いたとき「この子ども（療育に通う子たち）よりは普通だけ…」と言われて少し悲しかった。 ・どの先生もとても親切に対応して下さるので大丈夫。 ・就学のことについて相談すると、すごく親身に考えててくれてうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんとも保護者の方とも共感的に関わるよう心掛けておりますが、相手の思いも考慮せず、心無い発言をした職員がいたことをとても遺憾に思っております。申し訳ございませんでした。直ちに、共感的な支援とはどういうことなのかについて、話し合いの場を設け、理解と学びを深めました。今後は、相手の立場にたって発言をすることを職員に周知徹底いたしましたので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

問 等			56	50	14	89	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう情報を知らない。 ・ 兄弟に対する相談にのっていただいているので満足はしている。 ・ 活動の機会になかなか参加する事ができなかった。 ・ 保護者同士の交流会などは少ないかと思いますが、指導の待つ時など、保護者同士でお話ができるので十分かと思う。 ・ 交流会はないと思う。 ・ 夏休みなど兄弟で一緒に来てもいいのはすごくありがたい。多いか少ないかは、あまり一緒にやらないのでちょっとむずかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、児童発達支援事業所では父母の会、保護者会等の活動は行っておりませんが、同じ時間に顔を合わせる保護者の方が活動や場を共有することによって交流ができるようになります。 ・ きょうだい児につきましては、長期休暇の際は来所していただき、控室で共に過ごしながら交流する姿も見られます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	186	8	0	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談員さんがいらっしゃるので、困ったことがあるとすぐ相談ができるいいと思う。 ・ 電話で相談させていただいた時、急だったのに対応していただけた。 ・ 相談するとすぐに相談にのってくれる。今の自分にできることを答えてくれてすごく助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援事業所での相談のみならず、事業所内相談支援のサービスも行っております。申し入れがあつた際は迅速に対応できるよう心掛けておりますので、児童発達支援管理責任者までお申し出ください。 	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	197	7	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導の終わりに記録を書いていただいている。その時にどんなことをしたかなどわかりやすく書いてもらえるので十分だと思う。 ・ 担当先生以外にお話しても話が伝わって、楽に相談することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の記録の他に、療育時間の後半には、保護者の方とお話をする時間をとっています。お子さんの様子に合わせてお話しできるよう、配慮できたらと思っておりますので、お気づきの点がございましたらその都度お申し出ください。 	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	115	32	4	58	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページをわざわざ見にいかないのでわからない。 ・ 見た事がありませんでした。 ・ ホームページ等で発信されてると思う。 ・ 広報などでもお見かけして、地域への情報発信がされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もとす広域連合の広報誌「わっちら」が年4回発行されています。その中に、児童発育センターの紹介ページがありますので是非ご覧ください。 ・ もとす広域連合のホームページの中にも、児童発育センターのページがあります。施設概要はもどより、「お知らせ」ページでは各種訓練や見学、実習などの情報が発信しておりますので是非ご覧ください。(ホームページの「お知らせ」にアップされている記事は相談室横及び正面玄関の掲示板にも張り出しています。) ・ この事業所評価の結果についても、もとす広域連合ホームページに掲載します。 	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	196	3	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーはしっかり守ってくれていると感じる。 ・ プライバシーを守っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の方にはお手間をおかけしておりますが、実績票は職員から保護者の方に手渡し、確認後、保護者の方が事務室へ提出する方法をとることで、個人情報を管理しています。 ・ お子さんの様子を記録するために職員が持っているクリップボードもカバー付きのものに変更し、個人情報が見えないように配慮しています。 ・ 関係機関に提出する書類や情報は、必ず事前に保護者の方の同意を得るようにしております。 	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	169	10	0	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な訓練をしている。やった訓練は掲示板に貼っているのでわかりやすい。 ・ 定期的に掲示板で、行ったことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板を確認していただきありがとうございます。定期的に法廷訓練、研修を行っております。実施日の都合により参加できなかつた方にも知りただけるよう、目的や実施の様子についてホームページや施設内掲示板にてお知らせしておりますのでご確認ください。 ・ 各種マニュアルは策定されており、事務室横の掲示板に掲示しておりますのでご確認ください。 ・ 緊急時の対応については、利用開始時のアセスメントの際に説明し、お子さんがお持ちの「AI・あいBOOK」に書面が挟んでありますのでご確認ください。 	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	126	20	2	61	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加したことがなくわからない。 ・ 訓練に参加したことがないので何とも言えません。 ・ 避難訓練など定期的にされていると知っている。 ・ 行われてると思う。台風などがきた時の連絡ができるようになっててわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定された日時のご家族にご協力していただき、年2回地震や火災に備えた避難訓練を実施しております。また、職員は、水害訓練、業務継続計画に基づく訓練、不審者対応訓練等を行っています。 ・ 各種訓練を行った際は、ホームページの「お知らせ」欄に記事をアップしておりますのでご確認ください。(相談室横及び正面玄関の掲示板にも記事を貼りだしております。) ・ 今後、すべての方に取り組みの周知ができるように取り組んでまいります。 	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	181	9	0	19	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもちゃなどちゃんと片付けられており、安全の確保がされてると思う。 ・ ケガや事故がないように気にかけてもらえてると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児療育センターでは、安全計画を策定し、安全に配慮しながら支援を行っております。安全計画については、職員室横の掲示板に掲示しておりますのでご確認ください。 ・ 今後、取り組みについては、資料をお配りするなど周知に努めます。 	
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	153	7	2	47	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケガした時もすぐに冷やしてくれたりと、すばやい対応をしてくれた。 ・ どうしてそうなったかをわかりやすく教えてくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に保護者の方にも療育を見学・参加していただいているので、万一事故が発生した際は、その場ですぐに保護者の方に報告、対応するようにしております。また、お家に帰られた後にも、その後の様子について、確認のお電話を入れさせていただきます。 ・ いざという場合の対応については、保護者の方々にも周知させていただきます。 	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	207	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不安がることなく行ってくれている。 ・ 先生（いろんな）を把握している。 ・ 不安になることなく通っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子さんもご家族の方も安心して利用していただけるよう、今後も取り組んでいきたいと考えております。 	
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。							

満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	202	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週楽しみながら通うことができているのも、担当の先生をはじめみていたいしている先生方のおかげ。ありがとうございます。弟がいつもウロチヨロすみません…。 ・園で疲れた表情で帰ってきた日も、次の日療育があることを伝えると喜んでいる。本人にとって自分らしくいられる場所だと思うので、そんな事業所と先生方に出会えて感謝している。 ・毎週楽しみにしている。 ・すごく楽しみにしている。「先生とあそぶ！」とうれしそうにしている。 ・行く前、伝えると嬉しそう。 ・幼稚園より療育の方が好きそう。 ・いつも楽しみにしている。「もっとやりたかった」といつも言っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんもご家族の方も療育の日を楽しみにしていただけるよう、今後も取り組んでいきたいと考えております。
	29 事業所の支援に満足していますか。	204	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ通所しだしてそこまで経っていないので、今後もう少し様子を見ていきたい。 ・集団での活動もしてほしい。 ・とても満足している。いつもありがとうございます。 ・とても満足している。先生たちには感謝しかありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの様子に合わせて療育の形態をご提案させていただいていますが、疑問に思われること等ありましたら、いつでもご相談ください。 ・一人でも多くの方に満足していただけるよう今後も取り組んでいきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	もとす広域連合療育医療施設幼児療育センター					公表日	令和 8年 12月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームがいっぱいになりそうな時は保護者の方と相談し、食事の時間を早めたりしている。 ・訓練室については、利用の学年が重ならないようにしたり、状況を見て入室する人数を調整するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練室、ランチルーム等、利用児とその保護者で混みあう傾向があるので状況に合わせた利用の仕方を検討していく。 	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現状でも設置基準は満たされているが、令和7年11月末現在、予定している職員数が未補充の状況であり、職員の補充ができるよう、引き続き募集をしている。 ・業務の内容について、今年度より精選され、会計年度任用職員の事務仕事は軽減された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定している職員数は確保し、職員への負担の軽減を図るよう努める。 	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動によって部屋を変えるなどし、分かりやすい環境設定をしている。 ・室内はバリアフリーになっている。 ・子ども用トイレや一部の部屋には床暖房も完備されている。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が室内の清掃を毎日行っている。他の職員も療育終了後には各指導室の清掃をし、環境の整備に努めている。 		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋は基本的にどの部屋を使ってもよいことになっている。 		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・療育内容については、月曜日の午前中のグループごとの準備の時間を使って、準備をしながら話し合いをしているグループもあり、それぞれに話し合える時間を作るよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位ごとに振り返りや打ち合わせが行えるよう、スケジュールについて検討していく。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価アンケートを実施し、いただいた意見や内容をもとに、毎年業務の見直しをおこなっている。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの話し合いや職員会を利用し、業務の見直しに努めている。 ・施設長が職員一人一人と面談をし、意見を聞く機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの話し合いや職員会議など、職員が意見を言いやすい環境を整備するよう努める。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より、地域の方々のご意見を聞き、業務改善につなげるため、「幼児療育センター評価委員会」を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体が「幼児療育センター評価委員会」の存在や取り上げられた議題について周知する必要がある。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育講座、公開療育など、施設内で研修する機会を設けている。 ・公開療育の前には、施設内で事前検討会（内部研）を行っている。 ・他施設で行われる研修や公開療育などにも参加している。 ・公務員としての知識を身に付けるため、市町村研修センター主催の研修にも参加している。 		
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムについては、もとす広域連合ホームページに掲載するとともに、施設内掲示板でも公表している。 ・利用開始時のアセスメントの際、支援プログラムについて保護者の方に説明をしている。 		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズをよく聞きとり、取り入れることを第一に考え、個別支援計画書を作成している。 ・相談支援事業所の相談時にはお子さんの個別の様子を、児童発達支援事業所のアセスメント時には、グループでの様子を確認し、保護者の方とも話し合った上で個別支援計画書を作成している。 		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、学年のリーダー、担当職員とお子さんの支援に関わる職員で、サービス担当者会議を行い、共通理解のもと個別支援計画書を作成している。 		

適切な支援の提供	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0	・個別支援計画書や日々の記録は、お子さんごとの個別ファイルに保管してあり、担当する職員が変わっても、個別ファイルを見ればお子さんの様子や目標が分かるようになっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	0	・発達検査や発達質問紙などを用い、客観的にお子さんを把握すると共に、行動観察は常に行い支援に当たっている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0	・個別支援計画書には、「本人支援・移行支援」「家族支援」「地域支援」の項目を立て、それぞれに必ず目標を作り、支援内容を考えるようにしている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	1	・グループ療育においては、各学年のリーダーを中心に、チームで活動内容を考えている。チーム全体で考える時間が限られているので、隙間時間を使い効率的に活動している。 ・個別療育においては、児童発達支援管理責任者をはじめ、心理担当職員の意見を取り入れながら活動内容を考えることができるようサポート体制がある。	・チーム内で意見が出し合えるような時間や環境を設定するよう1日の業務スケジュールについて検討していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	・繰り返しの中にも少しずつ変化があるように活動を考えている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	・グループ療育利用のお子さんも、今年度は年間最大7回の個別療育の時間を設け、それぞれのお子さんの個別のニーズにも対応できるようにしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	1	・グループ療育の際は、短い合間の時間を使って、座席の位置や活動提示の順番や時間などの確認を行うよう努めている。	・打ち合わせは行っているが十分でないと感じるため、改善するよう検討していく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	6	・特に気になる点についてはその日のうちにリーダーに報告するようしている。 ・時間がとれない時もあるが、メモしておいて次の日などに話すようしている。 ・全職員揃って話す時間の確保は難しいため、合間に少しずつでも話すようにしている。	・1単位ごとに打ち合わせや準備、振り返りの時間が取れないこともあるため、1日のスケジュールについて検討していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	・日々の記録については必ず行い、常に支援の検証・改善に努めている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0	・6か月に1度、モニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っている。 ・園訪問に行った後や、支援内容に変更がある場合にも、その都度見直しを行っている。	
関係機関や保護者	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	0	・相談支援事業所が同じ場にあるということもあり、会議に参加しやすく連携しやすい。 ・会議にはお子さんの状況を理解している者が出席するように配慮している。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	0	・行政、福祉、医療、教育等、関係機関と連携して支援を行うよう努めている。 ・保育園、幼稚園、子ども園訪問も積極的に行っており、見学の受け入れも行っている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	・インクルージョンの観点を念頭に置き、お子さんが利用する園等と連携をとり、支援するよう心掛けている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	・就学の際には、保護者や教育委員会の先生とも連携を密に取っている。 ・就学の際には、幼児期に行っていた支援を小学校でも参考にさせていただけるよう、書面を作成し保護者の方の同意のもと、情報の共有を図っている。	・保護者を通じて支援を引き継げるよう書類を作っているが、学校と直接やりとりすることはあまりないのと、必要に応じて対応していく。
	(28~30は、センターのみ回答)	0	0		
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		

との連携	31	(31は、事業所のみ回答)	16	2	(この地域では、岐阜市にある「ポッポの家」に児童発達支援センターの機能を委託している) ・ポッポの家は遠いこともあり、スーパーバイズや助言を受ける機会はありません。 ・児童発達支援センターではありませんが、県の機関として、希望ヶ丘こども医療福祉センター地域療育支援係とは連携をとっており、スーパーバイズや助言をいただくことがある。	・必要に応じて、児童発達支援センターからスーパーバイズや助言を受けることができるということを知らない職員もいると思うので周知する必要がある。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	13	5	・事業所として、他の子どもと活動する機会は設けていないが、利用児の98.6%が保育園、幼稚園、こども園を利用し、療育を併用しているため、他のお子さんと活動する機会が保障されていると理解している。 ・療育の中で、地域の公園へ行くこともあり、地域の子どもたちと関わる場面がある。	・交流や地域の中で他の子どもと活動する機会を設けていない理由について、改めて全ての職員に共通認識を持つてもらえるよう周知する必要がある。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	・保護者の方と活動を共にしたり、お話をする時間を十分にとれるよう、サービス提供時間を設定し、お子さんの状況について共通理解できるよう努めている。 ・親子療育を行っている事業所だからこそできる強みであると思っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0	・年間3回程度、保護者向けの療育講座を開き、保護者の方への研修の機会を提供している。 ・外部機関で行われる研修についての情報は、施設内廊下掲示板にてお知らせをしている。 ・令和8年度には、岐阜県発達障害者支援センターが行う「ペアレント・トレーニング指導者養成研修」を幼児療育センターで行う予定である。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	・入所時のアセスメントの際、児童発達支援管理責任者が時間をとって丁寧に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	・個別支援計画書を作成する際には、アセスメントやモニタリングを行い、お子さんの状況と保護者の方の意向を確認しながら、作成するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0	・個別支援計画書の内容については、変更されるごとに説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	・それぞれの担任は、お子さんの対応や悩みに関する相談にその都度応じている。 ・事業所内相談支援のサービスを使い、児童発達支援管理責任者が相談対応するケースも多い。	・日々の相談時間が少ないと感じられる保護者の方がいらっしゃるという現状もあるので、より一層丁寧に保護者の方のお話に耳を傾け、相談に応じるよう努力していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	6	(保護者の方の負担を考え、平成13年より父母の会はなくなりました。) ・親子通園の施設なので、毎週顔を合わせる保護者の方が、それぞれに交流している様子がある。小さい子たちは控室で一緒に遊んでいる姿も見かける。 ・「きょうだい」は、場面に応じて交流したり、一緒に活動していることがある。	・父母の会はなくとも、お子さんの療育時間をうまく使いながら、保護者同士の交流の場を設けていくよう検討していく。
保護者への説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	・児童発達支援事業所内の相談支援については、児童発達支援管理責任者が迅速に対応できるよう努めている。 また、児童発達支援管理責任者が対応できない時も、相談の申し入れがあった場合は相談支援専門員を中心に迅速に対応できるように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	1	・療育の形態にかかわらず、毎月お便りを出し、支援の内容や日程についてお知らせをしている。 ・もとす広域連合のホームページの「お知らせ」ページにて、各種訓練、研修、実習、見学などの実施の様子をお知らせしている。 ・もとす広域連合のホームページの「お知らせ」ページに掲載した内容については、相談室横の掲示板や正面玄関に設置してある掲示板に記事を掲示し、いつでも見られるようにしている。 ・もとす広域連合広報誌「わっちら」の児童発達支援センターのページに、施設概要や療育の様子を掲載し、地域啓蒙に努めている。 ・もとす広域連合広報誌「わっちら」については、施設内正面玄関に設置しいつでも閲覧できるようにしている。	・通信、ホームページ、広報などで児童発達支援センターで行われている事業の内容について発信をしているが、SNSについては取り組んでいないので、今後検討していく。

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> 実績票は職員から保護者の方に手渡し、確認後、保護者の方が事務室へ提出することで、個人情報を管理している。 職員が持っているクリップボードも折り畳み式の物に変更し、記入してあるお子さんの情報が見えないように配慮している。 関係機関に提出する書類や情報は、事前に保護者の方の同意をすべて得ている。 	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> 意思疎通や情報伝達がスムーズに行われるよう、視覚的な情報を加え説明したり、翻訳アプリを利用するなど、それぞれの状況に合わせて配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての職員が意思疎通や情報伝達のための配慮ができるよう研修の機会を設けていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	6	<ul style="list-style-type: none"> 直接的に住民と接する行事等の機会はないが、地域の廃品回収などで、地域の方が駐車場を利用することはある。 ボランティアの受け入れは積極的に行っていている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民を招待するような行事等は設けていないが、ボランティアを積極的に受け入れ、地域に開かれた運営を心掛けていることを職員に周知する必要がある。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> それぞれマニュアルを作成し、研修、訓練等を行っている。研修、訓練等の様子については、ホームページにて公表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練は一部の利用児、保護者に限定されてしまうので、緊急時のマニュアル等保護者の方に周知できるような方法を検討したい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画（BCP）を策定し、訓練を行っている。 訓練の様子については、ホームページにて公表している。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> 初回アセスメント時には、既往歴、服薬等について保護者から聞き取るように努めている。 親子通園なので、隨時保護者の方より、情報を提供していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種の状況までは聞き取りをしていないが、その他、服薬やてんかん発作、既往歴等については、変わつてていくので、常に担当者が把握するよう周知する必要がある。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示書までの提出は求めていないが、食べ物を扱う時などは成分表を提示するなどし、保護者には十分確認をしている。 クッキングの際は毎回、親の許可、確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断書までは求めていないが、食物アレルギーへの対応について、保護者の指示を仰ぎ、関わる職員すべてが知ったうえで活動をするよう周知する必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画を策定し、研修、訓練、点検等を行ったうえで支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画が作成されており、毎月点検を行い、改善や修繕を行っていることを職員に周知する必要がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み内容については、ホームページや施設内掲示板にて周知するようにしている。また、利用開始時のアセスメントの際にも避難訓練等について説明をしている。 遊具についても、業者に委託して点検を行い、指摘があれば改善をしている。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの事例については、朝の連絡会で報告し、再発防止に向けた方策についても職員にその都度周知するようにしている。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を開催するとともに、虐待防止研修を実施し、適切な対応について周知するようにしている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束を行うようなケースは今のところありません。 身体拘束適正化の研修にて身体拘束について十分に理解した上で、身体拘束適正化委員会に図るなどし、適切に対応するよう努めたいと思っている。 	